



2020年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年3月26日

上場会社名 株式会社 銚子丸 上場取引所 東
 コード番号 3075 URL <http://www.choushimaru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 満
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 仁科 善生 TEL 043-350-1266
 四半期報告書提出予定日 2020年3月30日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第3四半期の業績 (2019年5月16日～2020年2月15日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第3四半期	14,805	4.4	465	0.6	508	4.8	280	10.4
2019年5月期第3四半期	14,179	1.7	462	85.3	484	73.9	253	53.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第3四半期	20.47	20.46
2019年5月期第3四半期	18.59	18.59

(注) 当社は、2018年11月16日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期第3四半期	10,329	6,893	66.7	503.21
2019年5月期	9,970	6,658	66.8	487.08

(参考) 自己資本 2020年5月期第3四半期 6,891百万円 2019年5月期 6,657百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2020年5月期	—	0.00	—	—	—
2020年5月期 (予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の業績予想 (2019年5月16日～2020年5月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,900	3.0	728	△22.3	751	△23.4	506	0.2	37.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.6「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年5月期3Q	14,518,000株	2019年5月期	14,518,000株
② 期末自己株式数	2020年5月期3Q	819,210株	2019年5月期	848,710株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年5月期3Q	13,685,964株	2019年5月期3Q	13,656,225株

(注) 当社は、2018年11月16日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数 (普通株式) を記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、個人消費や雇用・所得環境の改善を背景として緩やかな回復基調が続いているものの、米中貿易摩擦をはじめとした海外情勢の不確実性や、新型コロナウイルスの感染拡大等の可能性により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

外食業界におきましても、食材価格の高騰傾向、人材の確保を目的とした人件費の上昇傾向、消費税増税時に導入された軽減税率の対象となる持ち帰り商品や宅配・ケータリング強化など、他業種他業態との顧客獲得競争が激化するなど、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況において、当社は、良質な外食体験を通して、お客様に『生活の豊かさ』と『幸福感』を実感していただくために、「安全安心でコストパフォーマンスの高い商品の提供」「家庭的なサービスがあふれる良い雰囲気を提供」「清掃の行き届いた清潔空間の提供」に取り組み、既存顧客の来店動機高揚と新規顧客の獲得に努めてまいりました。

外食業の大繁忙期である年末年始の営業では、昨年同様に過去の売上実績から店舗によってはテイクアウト商品の販売のみとするなど、通常の営業時間の短縮とあわせて、最も効率的な営業形態・人材配置を工夫した店舗運営を展開しました。一方で「働き方改革の推進」の一環として、新たに従業員とその家族の生活の質(QOL/Quality of Life)の向上を目的として、2019年11月及び12月並びに2020年2月に、それぞれ「劇団員ファミリーホリデー(2日連続店舗休業日)」を導入いたしました。これに加えて、今年も繁忙期明けの2020年1月7日～9日にかけて原則全店で2～3日の休業日を設定するなど、従業員の心身のリフレッシュ及びQOLの向上により、一層質の高いサービスの継続的な提供に努めました。労働生産性向上を推進しながら働き方改革に取り組んだ結果、全店休業日の設定による売上高への影響は最小限にとどまりました。

店舗開発につきましては、「すし銚子丸」川口新郷店(2020年1月)を閉店した結果、当第3四半期会計期間末の店舗数は93店舗となっております。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は148億5百万円(前年同期比4.4%増)、営業利益は4億65百万円(同0.6%増)、経常利益は5億8百万円(同4.8%増)、四半期純利益は2億80百万円(同10.4%増)となりました。

(注)金額に消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ3億58百万円増加し、103億29百万円(前事業年度末比3.6%増)となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産は、前事業年度末に比べ2億4百万円増加し、73億61百万円(同2.9%増)となりました。主な内訳は、売掛金の増加2億37百万円であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ1億53百万円増加し、29億67百万円(同5.4%増)となりました。主な内訳は、建物(純額)の増加73百万円及びその他(純額)(工具・器具・備品等)の増加99百万円であります。

(負債・純資産)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ1億22百万円増加し、34億35百万円(前事業年度末比3.7%増)となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ1億33百万円増加し、30億49百万円(同4.6%増)となりました。主な内訳は、買掛金の増加1億19百万円、短期借入金の増加2億1百万円ならびに未払法人税等の減少2億47百万円であります。

固定負債は、前事業年度末に比べ10百万円減少し、3億86百万円(同2.6%減)となりました。主な内訳は、その他(リース債務等)の減少10百万円であります。

純資産は、前事業年度末に比べ2億35百万円増加し、68億93百万円(同3.5%増)となりました。主な内訳は、利益剰余金の増加1億98百万円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、2019年5月期決算短信(2019年6月27日公表)において公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、新型コロナウイルス感染症による経済への影響が拡大し長期化する兆しを見せてきておりますが、現時点ではその影響を数値化することが困難であるため、本業績予想には織り込んでおりません。

今後、修正の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年5月15日)	当第3四半期会計期間 (2020年2月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,369,865	6,413,479
売掛金	311,742	549,145
原材料及び貯蔵品	235,778	161,014
その他	239,071	237,741
流動資産合計	7,156,457	7,361,380
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	798,333	871,432
その他(純額)	521,691	621,265
有形固定資産合計	1,320,025	1,492,697
無形固定資産	13,204	11,890
投資その他の資産		
敷金及び保証金	874,972	883,653
その他	607,195	580,500
貸倒引当金	△1,078	△1,078
投資その他の資産合計	1,481,089	1,463,075
固定資産合計	2,814,319	2,967,663
資産合計	9,970,776	10,329,044
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,229,403	1,348,854
短期借入金	108,000	309,000
未払金	1,056,627	1,053,492
未払法人税等	266,990	19,189
賞与引当金	112,570	149,170
株主優待引当金	31,355	26,246
店舗閉鎖損失引当金	2,000	2,000
その他	109,020	141,466
流動負債合計	2,915,968	3,049,420
固定負債		
資産除去債務	202,235	202,222
その他	194,474	183,987
固定負債合計	396,710	386,210
負債合計	3,312,678	3,435,630

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年5月15日)	当第3四半期会計期間 (2020年2月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	315,950	315,950
資本剰余金	243,001	253,729
利益剰余金	6,821,249	7,019,372
自己株式	△722,553	△697,438
株主資本合計	6,657,648	6,891,613
新株予約権	449	1,799
純資産合計	6,658,098	6,893,413
負債純資産合計	9,970,776	10,329,044

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年5月16日 至 2019年2月15日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年5月16日 至 2020年2月15日)
売上高	14,179,270	14,805,291
売上原価	5,845,189	6,037,325
売上総利益	8,334,081	8,767,966
販売費及び一般管理費	7,871,778	8,302,940
営業利益	462,302	465,025
営業外収益		
受取利息	1,609	1,363
協賛金収入	13,417	25,343
その他	10,400	18,000
営業外収益合計	25,427	44,707
営業外費用		
支払利息	962	916
現金過不足	1,335	620
その他	596	—
営業外費用合計	2,894	1,536
経常利益	484,835	508,196
特別利益		
固定資産売却益	1,665	90
特別利益合計	1,665	90
特別損失		
固定資産除却損	421	10,092
減損損失	98,676	62,924
特別損失合計	99,098	73,016
税引前四半期純利益	387,402	435,270
法人税等	133,596	155,131
四半期純利益	253,805	280,138

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。